

Rotary Yachiyo



2022-23 年度国際ロータリーテーマ

「イマジン ローター」

2022-23 年度クラブテーマ

「ロータリーを学び、語り、

奉仕を実践していこう。"Think"」

週 報 第 2 7 0 3 回

2023年6月23日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

テーマ：委員会活動報告

担当：会長・幹事

次回例会 6月30日

テーマ：年次総括発表

担当：会長・幹事

◆◆◆第2702例会◆◆◆

司会 中島貞好

「我らの生業」「四つのテスト」

会長挨拶

会長 杉 晟

2005-6 年度 RI2700 廣畑 富雄がハナ著書「ロータリーの心と原点」(2006 年初版)からの抜粋をお伝えします。この本を著された理由は、「残念ながら近年、ロータリーは多くの問題を抱えるようになりました。ロータリーの魅力が失われたてきた、そのような声をよく聞きます。世界的な出席率低下、先進国の会員数減少、ポール・ハリスの創ったシカゴ RC の会員数半減、クラブ・リーダーシッププラン始まろうとしていた(これはオプションであり採用するかどうかはクラブの選択による、職業奉仕については触れられていない)。このような状況下で我々はどうすれば良いのだろうか。丁度その頃に RI 名会長(2002-03 年度)として誉れ高いビチャイ・ラタクラさんが来日され、福岡西 RC の講演で「ロータリーの基本に返ろう Back to Basics」と繰り返され、さらに「1905 年(ロータリー創立の年)に戻ろうとも言われたのが切っ掛けです。」と述べられています。

・「ロータリーの心」ポール・ハリスが目指したもののロータリーの心を考えるには、ロータリーの創立者ポール・ハリスが、なぜロータリーを創立したのか、学ぶ必要があります。彼がロータリー

を始めた理由は何か。その答えは簡単明瞭です。彼は友情を求めてロータリークラブを始めました。ロータリーは、以下述べるように、会員間の友情を格別大事にする団体だと思います。ハリスは戦前中国に行く船旅の途中日本に立寄り、日本のロータリアンから、大歓迎を受けます。そのとき多くの質問を受け「あなたはなぜロータリーを始めたのですか」という問いに、彼は「淋しかったから」と答えたのは有名な話です。彼がなぜロータリーを始めたか、その間の事情を彼の回顧録「My Road to Rotary 私のロータリーへの道」から詳しく調べてみましょう。ご承知の方が多いと思いますが、ポール・ハリスは家庭に恵まれなかった。父親が仕事に失敗し、幼い時から祖父母に育てられます。祖父母に可愛がられ、多くの友を得、ウォリントンフォードの素晴らしい自然の中で育ちます。やがて弁護士になり、故郷を遠く離れたシカゴで弁護士を開業します。しかし親類や友人から遠く離れ、結婚もしておらず、非常に淋しい思いをします。週日は仕事で気がまぎれる、しかし週末は特に淋しかったと言います。彼はある日、シカゴ郊外の弁護士仲間を訪ねる。そして二人で夜散歩をするのですが、その友人は町で会う人ごとに、ファーストネームで呼び合う。米国では友人の間では、姓ではなく名で呼ぶ。ファーストネーム(あるいはニックネーム)で呼び合うのが習慣です。かつてのウォリントンフォードでの生活、皆が友人であり親しい仲間であったウォリントンフォードを思い出す。そしてクラブを作ること

を考えるのです。広いシカゴで、いわば都会砂漠のシカゴで、田舎から出てきて友人がおらず淋しい思いをしている者が大勢いるに相違ない。そういう人達でクラブを作ったら素晴らしいのではと考えるのです。そしてその数年後の 1905 年に、最初のロータリークラブを結成します。断っておきますが、ロータリーが友情だけの団体であれば、今日の大発展はなかったでしょう。しかし同時に、これほど友情を大事にする団体でなければ、今日の大発展は決してなかったと思います。私は米国のロータリークラブに数多く出席しました。米国のロータリーは（少なくとも私が知っている頃のロータリーは）、初対面のビジターでもファーストネーム、ニックネームで呼び合っていました。ビジターの名札にも、ニックネームを書く欄がありました。ロータリーでは皆が友人であり、ファーストネーム、ニックネームで呼び合う間柄なのです。ロータリーの心を考えるとき、私が一番先に思うのは、ロータリーは友情を大事にする団体だということです。私は講演や卓話で、ロータリーは知人の集まりではなく、友人の集まりだということを強調してきました。ロータリーは暖かい友情が基本だと思うのです。なお一言追加すると、B.F.コリンズの、“無我の奉仕 Service, not Self” があります。これは後に“超我の奉仕 Service above self” に変わりました。B.F.コリンズがいわゆる“無我の奉仕”を述べたスピーチ原稿、「われわれはミネアポリスでこうしている」というスピーチの原稿を読むと、その最後に、自分たちは友情をととても大切にしていると述べています。ある会員の「もし自分が死んだ後、妻が困って誰かに相談や助けを求める際、ミネアポリス・ロータリークラブに行くように言っている」という言葉を引用しています。創立時のロータリアンは友情を特に大事にしていた、このロータリーの心は今でもぜひ受け継ぎたいものです。また B.F.コリンズが言う“無我の奉仕”の真意は、当時、会員同士に限定されていた相互取引を、ロータリアン以外の人にも広げていこう、それを Service, not Selfと言っているのです。

{註；この B.F.コリンズの“無我の奉仕 Service, not Self”と A.F.シェルトンの“最もよく奉仕する者、最も多くむくいられる He profits most who serves best”の二つの motto が採択された(1911 年)。現在はこの“超我の奉仕 Service above self”がロータリアンに求められている基本理念となっており、ロータリアンに高い哲学的境地が求められているところである。}

以上、ロータリーは友情が基本だと述べました。そのほかポール・ハリスが大切だと思っていたことを要約してみましょう(1933 年のボストンの世界大会でのスピーチに基づく)。一つは寛容の精神です。これについては、別に詳しく述べます。いま一つは職業分類です。つまり一人のロータリアンが、一つの業種を代表するものである、という事です。近年これが崩されようとしているのは残念なことです。さらに興味があることは、「なぜロータリアンは、ロータリーの集まりを楽しむのか、それはロータリーでは会員は形式主義を脱ぎ捨て、自然な(natural)態度に返り、楽しい集まりが持てるからだ」と述べています。ロータリーの会合では、少年にもどるとも述べています。きっと読者の中には、創立時と 100 年後のロータリーとを比べ、感慨深く感じられる方が多いことでしょう。

・ポール・ハリスが考える寛容の精神とは

寛容の精神については、彼は面白い事を述べています。国際ロータリーの雑誌、今は“The Rotarian”ですが、スタートした時は“The National Rotarian”と言っていました。その第一号に彼は、巻頭の論文を書いている。広大なコロシウム(円形競技場)の座席が、ロータリアンで埋め尽くされている。中央にポール・ハリスが立つ、そして何か一言ロータリアンの大衆に向かって叫んでほしいと言われれば、瞬時の躊躇もなく大声で“寛容 Toleration”と叫ぶだろうと述べています。”寛容”は彼にとって、本当に重要な、ロータリーの心なのです。

では彼の言う寛容の精神はどういうものなのでしょうか。彼はヴァーモント州のウオリングフォードで育ちます。そこに住む人々は、宗教的にまた政治的に、寛容であったと彼は言います。英国から宗教上の迫害を受け、米国に苦勞して移り住んだ清教徒(ピューリタン)の子孫です。おそらく、そこから寛容の精神が出てきたのでしょう。考えてみるとロータリアンは、皆が友達になり平和に暮らすことを望んでいます。どうしたらそういう状態が来るのか、彼は政治的宗教的に寛容である事が何よりも重要だと考えるのです。戦争は、お互いに寛容でないために起こる。それだけではないにしても、確かに重要な一要素でしょう。彼はもし信仰が違う人々が、カトリック、プロテスタント、ユダヤ教など、宗教が違う人々がロータリーで、同じテーブルにつく事ができたら、どんなに素晴らしいことだろうと、述べています。彼の考える寛容は、そういう人間社会の基本にかかわる事であり、平

和への道なのです。彼は、人を非難する言動をできるだけ避けたと、自分で言っています。ローターが大発展を遂げる、そのベースに寛容の精神があったと私は思っています。

(後記)ポール・ハリスの「ローターとは何か」という自問自答(My Road to Rotary ローターへの道より)ローターとは何か、何千人のロータリアンに聞けば、何千通りの答が返ってくるだろう(註、ローターの考え方は人によって違う)。しかしもしローターが、より寛容で、より他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり、助け合うようにしてくれるなら、そして、人生の美しさと喜びを発散し伝えるようにしてくれるなら、それが我々が求めるローターのすべてである。それ以上ローターに何を求めることがあろうか。非常にヒューマンイズムの精神にあふれた言葉だと思います。

幹事報告 幹事 中村賢治

- ・6/18 青少年交換認証授賞式開催
- ・6/27 交換留学生の Alexander James Kanar さん来日。
- ・習志野中央 RC より東京ビハルティ合奏団の公演案内が届きました。回覧します。

地区役員委嘱状手交

青少年交換委員会

委員長 田村隆治会員

委員 稲山雅治会員 久土地 剛会員

委員会報告

青少年奉仕委員会 委員長 菊川秀明

6/27(火)に交換学生の Alexander James Kanar くんが来日します。お時間のある方は空港への出迎えにご参集下さい。

R 財団委員会 委員長 安宅照男

今年度の例会もあと2回となりました。引き続きポリオ基金への寄付を受付けていますので、ご協力よろしくお願い致します。

次年度幹事 稲山雅治

次年度の活動計画書用の写真撮影を希望する方で、未完了の方は 6/25迄に小村会員のスタジオで撮影して下さい。

お祝い

本人誕生日：米山会員



結婚記念日：葉山会員



例会行事 委員会活動報告

幹事 中村賢治

本年度の活動報告をお願い致します。

クラブ管理運営委員会統括委員長兼
クラブ奉仕委員長・戦略計画委員長
杉山智基



出席委員会、プログラム委員会、親睦活動委員会の3つの委員会の管理運営を行いました。前半はコロナ禍であり十分な感染対策をとり例会を運営し、3委員会での連携を密にとる事としておりました。

無事に1年を終える事ができました。

クラブ奉仕委員会も滞りなく終える事ができました。

ビジョン2030の策定から3年が経過し、変更点があるかの見直しを行う為、委員会を3回、臨時委員会を1回開催しました。結果変更点はなしとなりました。また、中期目標の2030年に会員数65名を達成する為には年に3名の入会が必要となりますが、クラブ内の慣例等もありましたので、市原会員増強委員長に素晴らしい推薦フォームを作成頂きましたので次年度にも引き継げればと思います。

出席委員会

委員長 山浦恭宏



基本方針に会員は本クラブの例会に参加することが義務であり出席不良の原因となる諸事情があればそれを確かめてこれを除去することに努め会員同士の友情を深めて頂けるように出席率を高めてまいります。と掲げました。お休みの多い会員の方のケアがどこまでできたか、不安は残りますが、例会での出席率の発表、欠席の事前連絡の対応を行い各例会を迎えました。次年度になりましたら皆出席の発表を以て終了となりますので、最後まで一生懸命務めて参ります。中村幹事にはアドバイスを頂き助けて頂きました。事務局のフォローにも感謝致します。

プログラム委員会

委員長 中島貞好

基本方針では、例会をより愉しく有意義なものにする為、会員自身の専門知識、趣味、また、地域団体・他業種の方々に卓話をお願いしたいと計画しました。会員自身の専門知識の卓話として、印象深いのは谷田貝会員、山浦会員の建設業に関する話や、寺沢会員の家電に関する興味深い話、菊川会員の弁護士の話など多数の卓話をして頂き感謝しております。また地域団体、他業種の方



をお招きして卓話を頂く事もできました。

活動計画では、

1. 年間行事計画表に基づき、3か月程度前に委員長に依頼しました。
2. 例会時間を守り、卓話者に配慮しスムーズな例会を心掛ける事ができました。
3. SAA・親睦活動委員会と協力し、例会を充実したものにすることができました。

親睦活動委員会

委員長 池田 建



7/29に予定していた直前会長幹事慰労会がコロナの為延期になり、10/14の月見の会と同時開催しました。

12月はクリスマス家族会を予定通り開催する為準備を進めましたが、コロナの影響で中止し、会員だけの忘年会に縮小して割烹大洋にて開催しました。

1/6の新年例会には、三遊亭圓福師匠をお招きし楽しいひと時を過ごしました。

4/27には今期初めての親睦ゴルフを中山カントリークラブで開催。

5/18～19 親睦旅行は、長良川温泉と鵜飼見学を行いました。

今年も100%行事を開催する事は出来ませんでしたが、精一杯頑張りました。

会員増強委員会

委員長 市原正男

杉会長から年度終了時に会員55名という命題を受けましたが、53名からのスタートで無事に達成する事が出来ました。

卓話は9/2にわたしが、本年度の会員増



強についてお話をしました。ライオンズとロータリーの会員数の推移や、人口当たりのロータリアン数など、人数に関する事を中心にお話をしました。また昔の方ですと入会時年齢が若かったのですが、後半になるにつれ、入会年齢が上がってきています。お誘いを受けても今入らなくても、もう少し先でいいのでは、という傾向になったのではと考えました。皆さんが入会したいと思うクラブを目指すのが大切なのではないかというお話をしました。

2/17には三井会員に、「今トレンドのアルファベットカタカナ用語及び会員増強について」のテーマでお話頂きました。主に会員増強のお話をさせて頂き、個人の意見を尊重しつつ、ルール順守の大切さについてお話をしました。

本年度入会の会員を推薦頂いた遠藤会員、山浦会員、浅野正敏会員のご協力に御礼申し上げます。

公共イメージ委員会統括委員長 飯田明彦

基本方針として、本年度会長のテーマ「ロータリーを学び、語り、奉仕を実践しよう」から、会員相互の情報の共有を図ると共に、奉仕活動の紹介を通じ、地域社会に於いてRCのイメージ向上に繋がるよう発信して参ります。としました。クラブ広報委員長の田村会員、雑誌委員会の朝戸委員長が実践して下さいました。

クラブ広報委員会 委員長 田村隆治

基本方針として、八千代RC及び地区内のRCの活動、そして個々の奉仕活動を広く情報発信します。としましたが多くの発信する事はできませんでした。

活動計画では、昨年度に引き続き週報の内製化を継続しました。本日の週報で39回、文字数にして274,810文字でした。

担当例会では9月に財団奨学生としてアメリカに行っている松井智世さんとリモートで例会を行いました。3月には花島会員に泌

尿器科についての卓話を頂きました。クラブ広報ではターゲットを誰にするのかが非常に難しく、市民、会員、地区内のロータリアンなのか1年間考えながら活動しましたが答えが出ないまま活動を終える事になりました。

雑誌委員会

委員長 朝戸健夫



基本方針として「ロータリーの友」について、関心と理解を深める活動をする。対外的にもロータリークラブの活動を広報し、より多くの方に関心を持っていただけるように努める。としました。活動計画は、1.会員にロータリーの友の内容を紹介・説明する。2.地域にロータリーの友を紹介し、ロータリー活動に理解をいただく。とし、千葉銀行様にロータリーの友を置かせて頂きました。またセントマーガレット病院健康管理センターにも置きました。

担当卓話では、地域包括支援センターのお話をさせて頂きました。現在ロータリーの友に「日本酒と人」のテーマでお話頂いた卓話の掲載依頼を行っております。

青少年奉仕委員会

委員長 菊川秀明



昨年7月には佐々木彩心さんがアメリカに行き、サマンサゴーリーさんが来日しました。例会にも1度参加頂きました。現在は、英和高校の金杉君が派遣候補生となっていて、毎月一緒にオリエンテーションへ出席しています。地区に行きますと、

田村地区委員長、稲山会員、久土地会員が活躍されており、八千代の存在感を感じました。とても有意義な経験でした。この週末には認証式があり、派遣生となります。アメリカ、ミシガン州に派遣されます。6/27には Alexander James Kanar さんが来日します。

担当卓話では、11/25、5/12 の2回卓話を行いました。刑事的な点でお話しました。なるべく本音で話していたところ、時間がたりなくなりましたので、機会がありましたら、続きをお話したいと思います。

青少年奉仕委員会では、自分をほめた気持ちになりましたので、頑張ったと思います。ありがとうございました。

ロータリー財団委員会委員長 安宅照男



今年度は皆さまのご協力の下、活動する事が出来ました。ホリオ基金についても、もう少しというところまできておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

11/5 と 3/17 に R 財団月間として、卓話を行いました。1回目は、地区委員会で活動された遠藤会員に円安とロータリー財団寄付について、R 財団とは、財団の重点は何か、なぜ寄付が必要なのか、R 財団のしくみなどを分かり易く説明して頂きました。2回目は「SDGs 未来都市やちよの実現を」-市民発八千代ユネスコ協会の実践のテーマで八千代ユネスコ協会事務局長の高山敏朗様にお話し頂きました。

～ニコニコ BOX～

¥ 15,000-

☆活動報告よろしくお願い致します。

杉・風間・遠藤・杉山・佐久間・伊藤

☆6/13 の総会を以て千葉西法人会の会長を無事退任する事ができました。皆さまのご協力に感謝します。

ありがとうございました。 渡邊

☆私のブログ「ハタフライエフェクト」がインターネットのアメバブログでわたくし史上最高の 180 ア

クセス数を獲得しました。嬉しいです。橋本

☆お土産ありがとうございます。 谷田貝

☆久しぶりの太陽暑いです。 君塚

～友愛 BOX～

¥ 28,000-

☆健康第一で過ごしたいと思います。

ありがとうございます。 米山

☆49 年前の今日結婚しました。

Thank you 葉山

☆委員会活動報告よろしくお願い致します

中村・花島・江口・菊川・山浦・中島貞好

稲山・池田・朝戸・安宅・江頭・山崎・宮野

☆委員長様1年間お疲れ様でした。植村

☆暑い！(梅雨明け？！) 三井

☆今日は暑いです。

体には気を付けましょう。 松戸

☆先週休みました。 日下部

青少年交換派遣認証書授与式&歓送会

日 時：2023 年 6 月 18 日（日）

16:00～19:00

会 場：三井ガーデンホテル千葉

金杉君、会長、幹事、菊川委員長が出席



近隣クラブ例会日		例会場
火曜日	四街道 R.C	四街道ゴルフクラブ
火曜日	八千代中央 R.C	ウィッシュトンホテル・ユーカリ
水曜日	習志野 R.C	習志野商工会議所会館
水曜日	佐倉中央 R.C	第1ウィッシュトンホテル・ユーカリ第3夜間オリバート
木曜日	佐倉 R.C	フランス料理 シェ・ムラ
木曜日	習志野中央 R.C	習志野商工会議所会館

	会員 総数	出席	出席者	%
6 / 16	5 5	5 0	4 2	84.00

6 月のロータリーレート 1 ドル ¥ 1 4 0 -

■クラブ広報委員会 委員長：田村隆治 副委員長：久土地 剛

■出席委員長 山浦恭宏※欠席の際は必ず火曜日迄に出席委員長に連絡して下さい